

### 第53回神奈川建築コンクール 一般建築物部門 審査総評 審査委員 小滝 一正

今年度の応募総数は50件、教育施設が増加し、商業施設が減少したほかは、ほぼ例年通りの状況であった。まず書類審査によって17件を現地審査対象作品として選定し、5日間にわたる現地審査を行なった。最終選考では現地審査の結果により審査委員の投票と討論を経て優秀賞5件、奨励賞5件を入賞作品として選定した。アピール賞には環境への配慮に優れた1件を選んだ。今回は例年のように審査委員から圧倒的な支持を受けた作品がなく、最優秀賞は該当なしとした。

以下に全受賞作品について評価ポイントのいくつかを記して総評に代えたい。

まず優秀賞の5作品について記す。「大成建設技術センター本館リニューアル」は築28年の建物の一部分に異なる専門技術者の研究交流空間を付加したのみだが、様々な環境技術や構造技術を駆使して全く新しい研究施設に再生した。さすがに新技術開発の力を示すとともに、実物見本の展示場の感を呈している。

「カリタス女子中学高等学校」は中高一貫高で、大規模校において教科教室型の運営方式を実現して教育目標に適った豊かな教育と生活のための環境づくりに成功した。教科教室・メディアスペース・ホームベースから構成されたまとまりが、図書館・フォワイエの吹き抜けといくつかの心地よい中庭の周囲に展開している。割肌レンガの落ち着いた質感がこの学校の教育理念を表現しているように思える。「相模女子大学マーガレット本館・体育館」は大学の拡充整備に伴ってできた講義室・演習室・学生ラウンジ・事務室などからなる建物。イチョウ並木とクロマツ林、緑化された屋上、中庭、2階屋上テラスなどにより緩やかに連続した明るい空間が、打放しコンクリートの美しさと相まって大学の新しいシンボルとなっている。「東急ハーヴェストクラブ VIALA 箱根翡翠」は箱根仙石原の中心地に建つ様々なタイプの70室からなる会員制高級リゾートホテルである。隅々まで目配りされたデザインの上質な客室が、何段かの水面からなる中庭を囲んでゆったりとしたたたずまいを見せている。「横浜市立十日市場小学校」は高層住宅団地再開発事業のなかでの小学校の移転新築。普通教室とオープンスペースに加えて特別教室をもセットした新しいオープンシステム教育空間への提案に特徴があり、またデン・教師コーナー・更衣室などでオープンスペースが適度に分節化されている。厳しい面積条件のなかで豊かな学習の場を模索した計画の成果である。

奨励賞の5作品については以下のとおりである。「猿島公園」は自然環境と歴史文化遺産に富むエコミュージアム全体計画のなかで、地形に溶け込んだ管理棟とウッドデッキの下に埋め込まれたショップ棟の慎ましい姿がある。インフラのない無人島での発電、汚水・雑排水処理、

自然通風と採光の扱いなど、総合的なかつ細心な環境計画であり、さらなる整備を期待したい。「むくどり風の丘保育園」は相模川河岸段丘中段に背後を中層住宅と樹木に守られた好敷地に建つ木造の保育園。内部仕上げと家具や中庭に敷かれたチップに青森ヒバを用い、OMソーラーシステムや自然喚起などの自然エネルギーを利用しながら子供のための健康的な生活環境づくりが行われている。低い庇で中庭を囲むスケール感がとてもよい。「コンカード横浜」はアート&デザイン地区に指定された横浜ポートサイド地区に位置するオフィスビル。外部空間に置かれた彫刻、外部照明ポール、ロビー吹き抜けに斜めに挿入された吊りオブジェ等々各所にアートがちりばめられている。またいくつもの通り抜け外部空間が周辺都市環境に貢献している。「聖マリアンナ医科大学教育棟」は図書館・大小講義室・ゼミ室・個別学習室などからなる医学生の学び舎。狭い敷地のなか各所に設けたテラスと中央吹き抜けによりのびやかな空間づくりに成功している。様々な色調の白色が清々しい。「特別養護老人ホーム縁JOY」は地域の関わりを重視する高齢者介護施設。居住ユニット内の居間と食堂の区切りや玄関のつくり工夫がみられる。基本的な機能に加えて設けられたゲートボール場、リハビリ施設と岩盤浴、保育園などが地域との融合に力を発揮するよう期待したい。

アピール賞の「神奈川県立三ツ池公園パークセンター」は管理事務所・休憩所・公衆便所を内容とする小品ながら、太陽光・自然風・緑を取り込んで公園と一体化し、かつ太陽光発電・雨水利用・クールチューブなどにより環境との調和を図ったことが評価された。

保育園・小学校・中学校・大学といった子供と若者のための建築作品が受賞作品の半数を占めたのは喜ばしい結果であった。幼少時からホンモノの建築環境を日常的に体験しながら成長するのは殊のほか大切なことだと思ふ次第である。